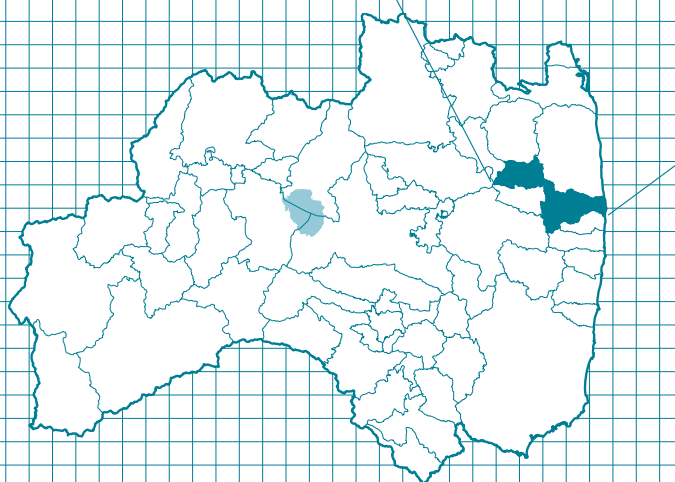
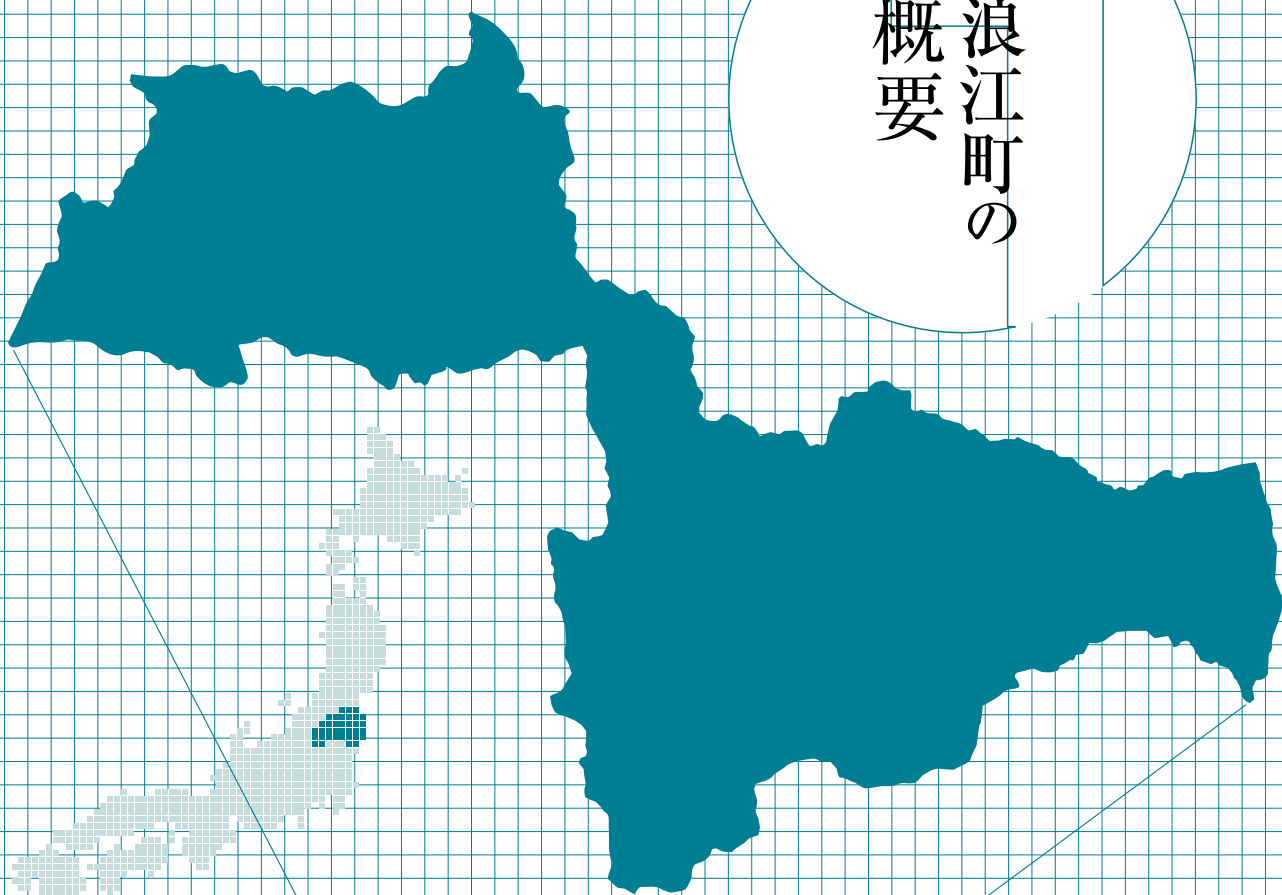


【第一章】

I 東日本大震災および原子力災害の記憶



浪江町の概要



地理的特色

浪江町は、福島県の浜通りの中央に位置し、北は南相馬市、飯舘村、西は川俣町、二本松市、南は田村市、葛尾村、双葉町、大熊町と接しており、東は太平洋に面しています。西は阿武隈山地をはじめとした山々に囲まれ、請戸川、高瀬川など水資源に恵まれています。

町の総面積は、223.14km²で町は東西に延び、山・川・海と変化に富む地形が特徴で、生活空間は市街地、農村地域が広がる里山、漁業が盛んな沿岸部など、多様な風土が広がっています。

浪江町民憲章

(昭和51年制定)

1. お互いに協力しあい健康で平和な町をつくりましょう。
1. 産業と教育、文化を重んじ豊かな町をつくりましょう。
1. 楽しく働き自然を愛し清く明るい町をつくりましょう。
1. 親切をもととし愛情の町をつくりましょう。
1. 老いも若きもきまりを守り住みよい町をつくりましょう。

町の成り立ち

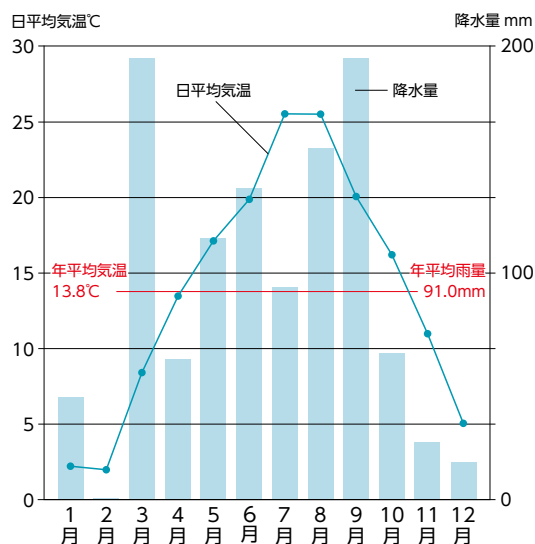
1889（明治22）年に町村制が施行された際に、現在の浪江町の前身である浪江村・請戸村・幾世橋村・大堀村・荻野村・津島村の6カ村が誕生しました。このうち浪江村は1900（明治33）年に浪江町に昇格、1953（昭和28）年に施行された町村合併促進法によって、請戸村・幾世橋村と合併、次いで1956（昭和31）年に大堀村・荻野村・津島村と合併、現在に至っています。

広域交通

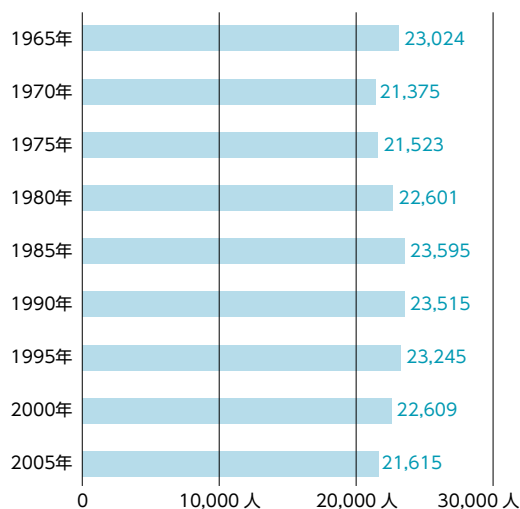
町の中央をJR常磐線、国道6号が縦貫し、東西には国道114号が福島市に連結しています。津島地区は国道459号、399号が周辺市町村と連結しています。東日本大震災および原発事故の影響により、町の交通網は甚大な被害を受けましたが、2015（平成27）年に常磐自動車道が全線開通、2020（令和2）年にJR常磐線の富岡-浪江間が復旧し、全線復旧を果たしました。

気 候（気象庁・2018年）

年平均気温は13.8℃。平坦地は温暖な気候で、冬季は積雪がほとんどない典型的な太平洋気候となっています。



人 口（国勢調査）



町の現況

2021（令和3）年3月末現在の町の居住人口は1,628人、世帯数1,025世帯となっています。震災時の人口は、21,434人、7,671世帯でした。2017（平成29）年3月31日に帰還困難区域を除く一部地域で避難指示が解除され、町は少しずつ活気を取り戻していますが、住民の帰還率は7%ほどで、福島県内外を含め2万人近くが浪江町を離れて生活している状況が続いています。

町 章

浪江町の「な・ミ・エ」を図案化したものです。全体デザインが「な」、翼の部分が「ミ」、中央部の白地が「エ」を表しています。大きな円は「大人」、小さな円は「こども」、円全体で「和」「親睦」「融和」「団結」を表現しています。翼は1町5カ村（浪江町・幾世橋村・請戸村・大堀村・荻野村・津島村）の飛躍発展を象徴しています。



町の木 松（アカマツ）

風雪雨に耐え垂直にのびる姿で、限りない町の発展と町民の長寿、正しい節操を象徴しています。



町の花 コスモス

荒れ地にも生き、優しい姿で、町民の優しく、力強く生きることを願うとともに、秩序と調和のある町を象徴しています。



町の鳥 かもめ

波間に浮く姿はおおらかで、飛んでいる姿は力強く、ゆとりのある心、力強く前進する町を象徴しています。

東日本大震災の概要

マグニチュード9.0

国内観測史上、最大規模の地震が発生

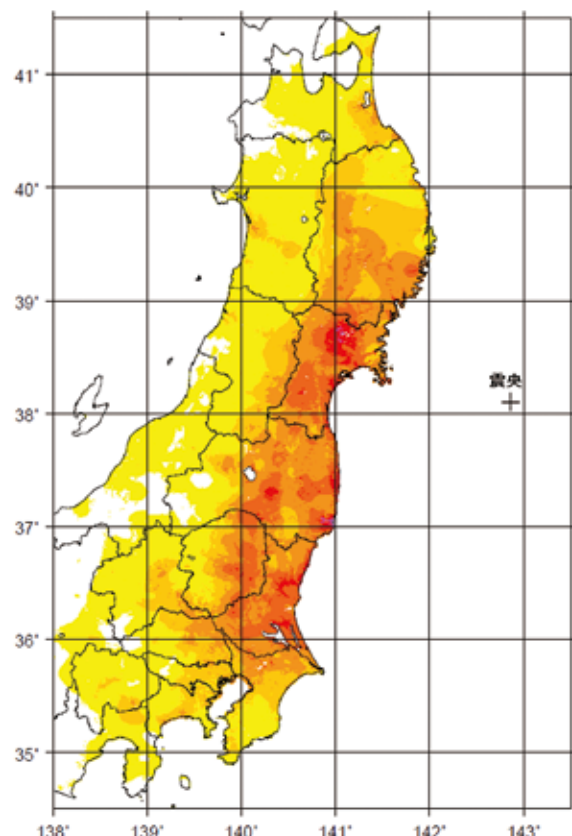
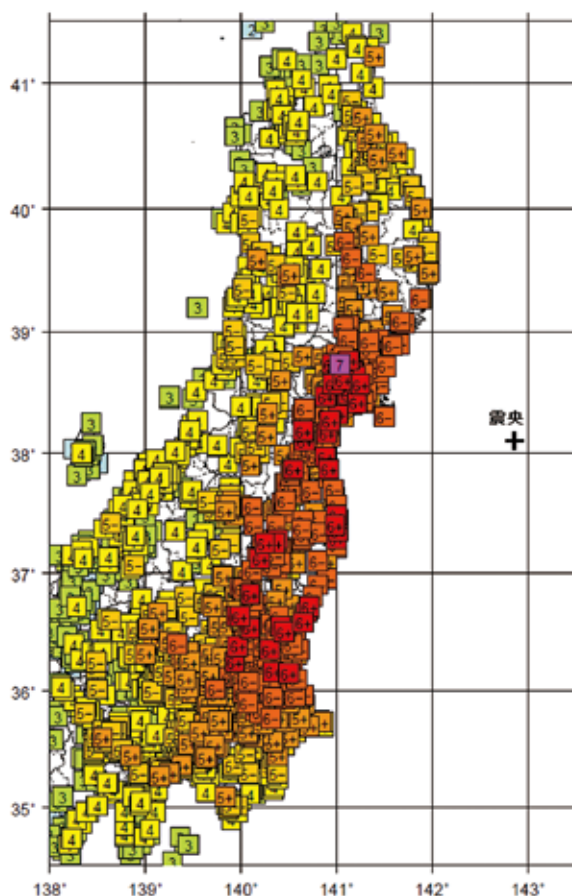
2011（平成23）年3月11日14時46分、三陸沖を震源として発生した大地震は、日本列島に甚大な被害をもたらしました。震源の深さは24km、地震の規模を示すマグニチュードは9.0で、これは国内においては1923（大正12）年の関東大震災の7.9、昭和三陸地震の8.4を上回る観測史上最大のものとなりました。世界でも20世紀以降で4番目の規模の地震でした。

気象庁は地震の名称を「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」と命名し、政府は4月1日の閣議で地震による災害およびそれに伴う原発事故による災害について「東日本大震災」の名称とすることを閣議決定しました。

本震で、宮城県栗原市で最大震度7を観測したほか、宮城県、福島県、茨城県、栃木県の4県37市町村で震度6強の強い揺れを観測。東日本を中心に北海道から九州地方にかけての広い範囲で震度6弱～1を観測しました。

その後も強い揺れを伴う余震が多数観測されました。気象庁発表のデータによると、2011（平成23）年3月11日から翌2012（平成24）年1月31日までの積算で、マグニチュード5.0以上の余震は587回、マグニチュード6.0以上の余震は96回、マグニチュード7.0以上の余震は6回発生しました。

3月11日14時46分に発生した本震（M9.0、最大震度7）の市町村ごとの震度分布状況



（資料／気象庁）

＜推計震度分布図利用の留意事項＞
地震の際に観測される震度は、ごく近い場所でも地震の速いなどにより1階級程度異なることがあります。
また、このほか震度を推計する際にも誤差が含まれることがありますが、推計された震度と実際の震度が1階級異なる場合があります。
このため、個々のメッシュの位置や震度の値ではなく、大きな震度の面的な広がり具合とその形状に留意してご利用下さい。

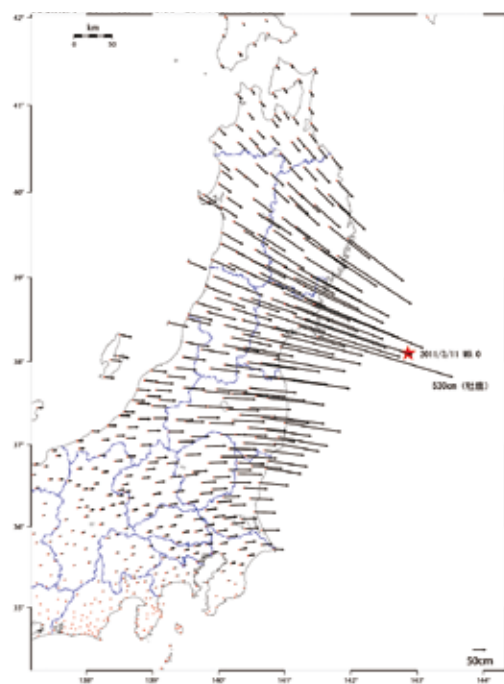
凡例	
7	震度7
6+	震度6強
6	震度6弱
5+	震度5強
5	震度5弱
4	震度4
3	震度3
2	震度2
1	震度1

東日本大震災発生のメカニズム

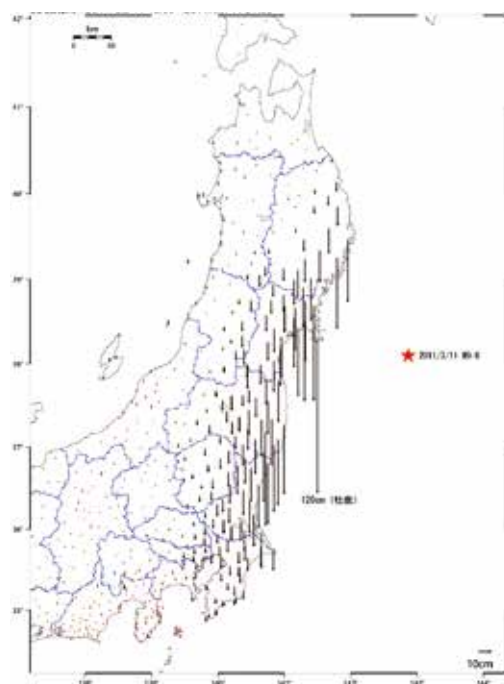
気象庁の資料によると、東日本大震災発生のメカニズムは、西北西-東南方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界に広い範囲で破壊が起きたことにより発生した地震とされています。

本震は、日本海溝から沈み込む海側の太平洋プレートに陸側の北米プレートが引きずり込まれ跳ね返ることによって発生しました。

本震に伴う地殻変動（水平）



本震に伴う地殻変動（上下）



(資料／国土地理院)

震度6弱以上が観測された主な地域

震度	都道府県	観測地点名
7	宮城県	栗原市
6強	宮城県	涌谷町・登米市・美里町・大崎市・名取市・蔵王町・川崎町・山元町・仙台市・石巻市・塩竈市・東松島市・大衡村
	福島県	白河市・須賀川市・国見町・鏡石町・天栄村・檜葉町・富岡町・大熊町・双葉町・浪江町・新地町
	茨城県	日立市・高萩市・笠間市・常陸大宮市・那珂市・筑西市・鉾田市・小美玉市
	栃木県	大田原市・宇都宮市・真岡市・市貝町・高根沢町
6弱	岩手県	大船渡市・釜石市・滝沢村・矢巾町・花巻市・一関市・奥州市・藤沢町
	宮城県	気仙沼市・南三陸町・白石市・角田市・岩沼市・大河原町・亘理町・松島町・利府町・大和町・大郷町・富谷町
	福島県	福島市・郡山市・二本松市・桑折町・川俣町・西郷村・中島村・矢吹町・棚倉町・玉川村・浅川町・小野町・田村市・伊達市・本宮市・いわき市・相馬市・広野町・川内村・飯舘村・南相馬市・猪苗代町
	茨城県	水戸市・土浦市・石岡市・常総市・常陸太田市・北茨城市・取手市・つくば市・ひたちなか市・鹿嶋市・潮来市・坂東市・稲敷市・かすみがうら市・桜川市・行方市・つくばみらい市・茨城町・城里町・東海村・美浦村
	栃木県	那須町・那須塩原市・芳賀町・那須烏山市・那珂川町
	群馬県	桐生市
	埼玉県	宮代町
	千葉県	成田市・印西市

(資料／気象庁)

東日本大震災の地殻変動

国土地理院の観測システムによると、東日本大震災では、最大で水平方向に約5.3m、上下方向に約1.2mという極めて大きな地殻変動が観測されました。3月11日本震以降も緩やかな地殻変動が続いています。